

鹿沼市立菊沢東小学校

児童数	学級数	内容区分（あてはまるものすべてに○を記入）
298	16	() 児童生徒の体力向上に向けてWEBサイト「とちぎっ子体力雷ジグひるば」使った取組 () 新体力テストの調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善の取組 () 体力づくりに関する家庭との連携 (○) 教職員の資質向上のための取組

1 ねらい

体育授業の質の向上、校内環境の整備等を組織的に行うことで、児童の運動に対する意識の高揚及び体力の向上を図る。

2 実施内容

(1) 学校全体による組織的な取組

ア 体力向上を目指した学校課題の設定

令和3年度の学校課題に「児童の運動に関する意識の高揚並びに体力の向上を目指して～組織的な取組・活動環境の整備・授業改善・指導力の向上を通して～」を掲げ、目指す児童像を「生涯にわたって主体的に運動に取り組もうとする子」とし、全教職員の共通理解と意識化を図った。

令和4年度は「思わず動きたくなる体育の授業づくり～児童のふり返りを生かした3段階構成による展開をベースに～」を学校課題とし、継続して児童の体力向上を目指した取組を行っている。

イ 校内体制の構築

校内において、「授業づくり」、「調査・記録・啓発」、「環境」の3部会を編成し、部会ごとに取組を実践した。（詳細は右表参照）

部会	実施内容
授業づくり部	- 授業改善 - 単元計画を作る上で参考になるものを各自持ち寄る。（本・インターネット） - 低学年・中学年・高学年のゴール型ゲームの単元計画作りをする。 - 年度末には単元計画（ゲームの単元を中心に）を全学年完成させる。 - ウォーミングアップ - 職員や児童からウォーミングアップのアイデアを募集する。 - 集まったウォーミングアップを領域やねらいごとに分ける。 - 資料作成 - ワークシートに掲載できるような動画を集める。（1分程度） - 校庭でタブレットのWi-Fiが使えるかを確認する。 - 集めた動画をQRコードにして、既存のワークシートに貼り付ける。 - 既存のワークシートを確認する。 - 適時、動画のQRコード化に取り組む。
調査・記録・啓発部	- 児童アンケートの結果をもとに、啓発の仕方を考える。 - 研究授業や普段の授業の写真を撮って、掲示物や啓発の文書に活用する。 - 休み時間の外遊びの様子の写真を撮って、掲示物や啓発の文書に活用する。また、家庭で取り組んでいる運動を書いてもらい、文書に掲載紹介する。 - 研究授業の撮影は、写真・動画・発問等の記録を分担して行い、保存していく。
環境部	- 階段踊り場、昇降口、校庭を確認し、どの場所に何を掲示するのか考える。 - 材料の選定をし、推進委員会に確認したのち作成する。 - 校庭に、体力づくりにつながる遊びコーナーや設備等の環境を整備する。活用の仕方のお知らせも作る。

(2) 授業の質の向上に向けた取組

ア 校内研修の実施

体育の指導に不安を感じている教員が多かったため、体育科の教員による実技研修会や、宇都宮大学の石塚先生、鹿沼市教委の辻指導主事を招聘して校内研修会を開催した。また、体育科の教員の授業は全て公開授業とし、いつでも参観できるようにした。

また全ての学年で公開授業及び研究授業を行った。公開授業では授業を見た参観者から授業者に意見を渡し、研究授業では全職員で授業研究会を開催し意見の交流をした。

イ 授業構成の統一

授業づくり部会が提案した「授業の3段階構成（①児童だけで行える休み時間の遊びの延長のようなウォーミングアップ→②教師の主導のもとに行う主運動につながる内容が「分かる」補助運動→③主運動）」の考え方を共有し、全学年においてこれをベースに授業を実践した。（右図は例）

【中学年】			
運動領域	①ウォーミングアップ	②補助運動	③主運動
器械運動	馬跳び・壁押し （腕で支える）	飛び上がりジャンプ・ またぎ乗りまたぎ降り （跳び越す）	跳び箱
走・跳の運動	じゃんけんグリコ （大股で走る）	ミニハードルへびおに （いろいろなリズムで走る）	小型ハードル走
ゲーム	キャッチボール・的当て （狙ったところに投げる）	ジグザグパスリレー （投げる・受ける・動き方の練習）	ハンドボールを 簡易化したゲーム
ゲーム	両手でボール突き・バスキャッチ （ボールに対して正面に入る）	バスキャッチゲーム・サブキャッチゲーム （ボールに対して正面に入る）	バレーボールを 簡易化したゲーム

(3) 校内の環境整備等

ア 児童の意識・関心を高めるために、各学年の授業の様子がわかるパネルや、運動・遊びの紹介などの掲示物を作成し、廊下や階段踊り場などに掲示した。

イ 運動が苦手な児童でも簡単に行えるような自作遊具を校庭に設置し、休み時間等に自由に遊べるようにした。

ウ コロナ禍で様々な制限がかけられる中においても、できる限りの対策を講じた上で、授業、体育的行事、休み時間の外遊び等、児童が身体を動かす機会を確保した。

3 主な成果（箇条書きで簡潔にまとめる。）

- (1) 教員間の体育に関する会話が増え、共有や教え合い等を行う姿が顕著に見られるようになった。
- (2) 教員の体育の授業に対する意識が高まり、また研修を重ねたことにより知識が増えたことで、授業内容にも変容が見られた。
- (3) 「3段構成」によって主運動につながる運動経験を積ませることで児童の技能の習得が高まった。
- (4) 特にウォーミングアップに児童が楽しみながら積極的に取り組んでおり、運動が楽しいという児童が増えた。また授業における運動量の確保にもつながった。
- (5) アンケート結果より、「運動は得意ではないが、体育の授業は楽しいので積極的に参加している」という児童が増えた。

4 資料



＜校内研究授業の様子＞



＜部会の様子＞



＜自作教具＞



＜校内掲示 例＞



＜自作遊具 例＞



＜ワークシート 例＞